

## 第1回 村岡新駅周辺地区まちづくりコンセプトブック作成有識者会議 議事概要

日時： 2022（令和4年）9月6日（火）15：00～17：30

場所： 藤沢市役所 分庁舎 6階 6-3会議室

出席： <学識経験者・有識者>（◎=会長、敬称略・会長以外五十音順）

◎中島 直人 東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 准教授  
有吉 亮 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 特任准教授  
石山 さつき 都市プランナー／慶應義塾大学環境情報学部 非常勤講師  
井庭 崇 慶應義塾大学総合政策学部教授  
同大学大学院政策・メディア研究科研究科委員  
高松 誠治 スペースシンタックス・ジャパン株式会社 代表取締役

<藤沢市>

三ツ井 幸子 企画政策部参事 企画政策課長  
青木 将徳 経済部参事 産業労働課長  
額賀 健一 都市整備部参事 都市整備課長

<事務局>

都市整備部 都市整備課  
昭和(株) (株)フロントヤード)

議題： ①会議設置について  
②村岡に相応しいコンセプトブックのあり方について  
③有識者会議の論点について

---

（会議での意見）

- ・まちづくり方針はメッセージが伝わりづらい。コンセプトブックは、本当に重要なものに絞りこんで、普通と違う部分を切り立たせていくべき。
- ・既存の周辺地域の土地風土が持っている良さ、今後変わっていくことの良さも含めて整理し、尖らせていくことが必要。また、他の駅とどう違う魅力がこのエリアにあるのかということ発信するべき。
- ・創造的と呼べる行動をしている時間をイメージしたとき、まず1人でお気に入りの場所にこもって創造することが重要。次にプロジェクトスペース、コワーキングのようなもの。さらに、人との出逢いが街に開かれた状態でどれだけ起きるかだと思う。
- ・時間というのも面白い切り口。創造をする時間が豊かにあるかとか、この街の時間に特徴的なものがあるかもしれない。
- ・コンセプトブックは何のためにあるのかということと、この有識者会議では、本当にあるべき、こういうものが自分たちの街でやりたいのだということを示して、それをコンセプトブックとしていくべきということが共有できた。